

(社)全日本鍼灸学会

平成 24 年度 第 4 回理事会 会議録要旨

I. 開催の日時及び場所

日 時：平成 25 年 2 月 3 日(日) 午後 2 時 00 分～午後 5 時 00 分
場 所：日本鍼灸会館 2 階 講堂（東京都豊島区南大塚 3-44-14）

II. 議事の経過要領および結果

司 会：事務局長 福村 昭
挨 拶：会長 後藤 修司
議 長：会長 後藤 修司

【報告事項】

1. 各部事業中間報告（平成 24 年 11 月～平成 25 年 1 月）

- 1)事務局 福村事務局長
資料に基づき説明があった。
- 2)学術部 篠原学術部長
資料に基づき説明があった。
- 3)研究部 山下研究部長
資料に基づき説明があった。また、鍼電極低周波治療器の認証基準についての問い合わせは、日本理学療法機器工業会（日理機工）を通すことが併せて説明された。
- 4)編集部 坂口編集部長
資料に基づき説明があった。
- 5)国際部 若山国際部長
資料に基づき説明があった。
- 6)組織部 安藤組織部長
資料に基づき説明があった。
- 7)広報部 清水広報部長
資料に基づき説明があった。また、広報活動強化の一環として、Facebook や twitter 等のアカウント創設を組織部と一緒に検討することが説明された。

2. JLOM 関連委員会報告

東郷 JLOM 関連委員会委員長

資料に基づき説明があった。ISO/TC249 WG3,WG4 において、韓国側は鍼電極低周波治療器だけではなく、鍼通電に用いる鍼の規格についても作成したいとの意向を示しており、今後の対応について協議する必要があるとの認識が示された。また、WHO ICD11 における証分類においては、今後 WHO から依頼を受けた厚労省によりフィールドテストを行う必要があるが、より良いテスト方法について本学会学術部、日本伝統鍼灸学会学術部とも連携しつつ模索していくこととなった。

3. 認定委員会報告

鳥谷部認定委員会事務局長

資料に基づき説明があった。

4. グランドデザイン検討委員会報告

津田委員長

資料に基づき説明があった。また、三浦広報副部長から、日鍼会会報に入会案内を同封する件について日鍼会理事会の承認を得たことが報告された。

5. 第 61 回学術大会(三重大会)決算報告 津田中部支部長
資料に基づき説明があった。

6. 第 62 回学術大会(九州大会)準備報告 福田学術副部長
資料に基づき説明があった。若山国際部長から大会テーマや講演タイトルの英訳に関して、現在は国際部で対応しているが、講演者の意向を汲んだ英訳になっているかという問題も生じるため、今後は講演者に対して英語タイトルも依頼して欲しいとの要望が出され、今後検討することとなった。また、鳥谷部認定委員会事務局長から大会の記録を取るのか質問が出された。それに対し福田学術副部長から、著作権やマンパワーの問題から現在のところ記録しない方針であるとの回答があった。今後、記録方法について認定委員会にて検討することとなった。

7. 日本生理学会大会 全日本鍼灸学会連携シンポジウムの案内 山下研究部長
第 90 回日本生理学会大会において開催される「鍼灸療法の生理学:トランスレーショナルリサーチ」についての説明があった。金井参与から無料で参加できる学部生に専門学校生が含まれるのか質問があり、確認することとなった。

8. 京都大学臨床研究中核病院構想シンポジウムの案内 福田学術副部長
資料に基づき説明があった。メルマガにおいて告知することとなった。

【審議事項】

1. 公益社団法人理事会規程(案)について 安藤定款等改正検討委員会委員長代行
資料に基づき説明があった。追加の変更事項として以下の項目の説明があった。
 - ・第 3 条第 3 項 監事の常務理事会への出席を追加する。
 - ・第 6 条第 2 項 理事会の開催を 3 月と学術大会開催月とする。
 - ・第 6 条第 4 項 常務理事会を 7 月、11 月、2 月に開催することを追加する。
 - ・第 8 条第 1 項 理事会の招集通知は理事会の開催日の 2 週間前までに発しなければならない。
 - ・第 14 条第 1 項 議事録の記名押印を会長、副会長、監事とする審議の結果、賛成多数で承認された。
2. 社団法人会計処理規程の一部変更について 福村事務局長
資料に基づき説明があった。審議の結果、賛成多数で承認された。
3. 著作権ポリシーの掲載について 坂口編集部長
資料に基づき説明があった。著作権ポリシーについて審議の結果、以下のように取り扱うことが賛成多数で承認された。
 - ・著作権は学会に帰属する。
 - ・学会雑誌に掲載された論文を著作者本人がインターネット上で公開することに関して、査読後論文のみ認め、出版社版の利用を認める。
 - ・公開場所は著者個人の Web サイトならびに機関リポジトリとする。
 - ・公開条件として、権利表示、出典表示を行う、学会が提供する電子出版へのリンクを貼る、事後に報告を行う。
4. グランドデザイン検討委員会の今後について 津田委員長
資料に基づき説明があった。パブリックコメントの実施について HP やメルマガ、学会雑誌などの媒体を使って会員からの意見を記名式で聴取する予定であることが説明された。審議の結果、賛成多数で承認された。
5. 公益社団法人移行に伴う JCB カード券面変更諸費用について 福村事務局長
コストの面から券面は変更しないこととする。審議の結果、賛成多数で承認された。

6. サーバー統合について 安藤定款等改正検討委員会委員長代行
鍼灸文献データベースを学会サーバーに統合する件について、データベース委員会からの返答を受けて審議を行った。審議の結果、フリーソフト「DSpace」の移行先サーバーでの稼働確認、(株)アグレックスによるデータ移行作業の費用、(株)アグレックスと学会との現在のサービス契約内容の詳細いくつかの項目について清水広報部長による確認後、再度理事会に諮ることが賛成多数で承認された。
7. DVD 複写機の購入について 鳥谷部認定委員会事務局長
今まで外注していたDVD作成作業を認定委員会事務局で行えるようにするため、DVD複写機を認定委員会で購入したいとの説明があった。審議の結果、賛成多数で承認された。
8. 国際学会渡航費助成の募集他 若山国際部長
若手研究者の海外発表を促すため、学会参加費・渡航費・宿泊費について上限 20 万円とする助成を海外派遣費の中から支出することが説明された。審議の結果、賛成多数で承認された。
9. 刺絡療法の取り扱いに関する検討委員会の設置について 篠原学術部長
刺絡療法について、その現状や法的解釈に関する問題、今後の取扱いに関する問題等を検討する委員会を設置したいとの説明があった。審議の結果、刺絡療法検討委員会を設置し、予算を 100 万円計上することが賛成多数で承認された。
10. 平成 24 年度中間決算報告 齋藤財務部長
資料に基づき説明があった。審議の結果、賛成多数で承認された。
11. 平成 25 年度予算案について 小川副会長
平成 25 年度予算案について検討を行った。審議の結果、平成 25 年度予算案について以下のように変更することが賛成多数で承認された。
・組織部からの会員数報告を受けて正会員会費収入を 3140 万円、学生会員会費収入を 650 万円に変更する。
・学術大会準備金はその性格上開催金とし、第 66 回大会以降は開催支部に対して開催金分の黒字確保に努めるよう要請する。
・公募研究助成金についてはランドデザイン検討委員会ならびに国民のための鍼灸医療推進機構において公募研究の方向性が固まるまで凍結することとし、来年度は研究専門委員会費の 80 万円を公募プロジェクトを実施する。
・特別会計 認定委員会において DVD 複写機購入代金 47,900 円を計上する。
・特別会計 国際シンポにおいて原著翻訳料を原著等翻訳料とし、投稿規程の見直しに伴う翻訳料の支出が見込まれるため、100 万円に増額する。
12. 入会審査
平成 24 年 11 月から平成 25 年 1 月までの間に入会申請のあった者に対して入会審査を行った結果、全員の入会が賛成多数で承認された。

以上、すべての議案について審議の結果、賛成多数で承認された。

以上をもって、平成 24 年度第 4 回理事会の議事を全て終了した。